第2回幡多地域アクションプランフォローアップ会議資料



平成31年度幡多地域アクションプランの追加、削除、拡充等(予定項目)について

幡 多 地 域 本 部 平成31年2月13日(水)

幡多地域アクションプラン項目 (第3期計画ver.3 (H30年度)

No.	平成30年度	宿毛市	佐	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		12	11	15	9	8	8
	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業	•					L
2	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業	•					
3	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業		•				
4	四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業			•			
5	三原村ユズ産地化計画の推進事業					•	
6	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業			•			
	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業				•		
8	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業	•			•		
9	すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業	•					
10	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業	•					
11	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業	•					
12	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業			•			
13	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業				•		
14	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業				•		
15	幡多地域産品販売体制構築事業	•	•	•	•	•	•
16	直七の生産、加工、販売の促進事業	•					
17	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業	•					
18	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト		•				
19	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業		•				
20	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業		•				
21	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業		•				
22	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業			•			
23	四万十牛の生産・販売拡大事業			•			
24	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)			•			
25	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業			•			
26	地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業			•			
27	四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業			•			
28	素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業			•			
29	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業			•			
30	大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)				•		
31	三原村のどぶろくによる地域活性化事業					•	
32	地域産トマトの加工・販売の推進事業					•	
33	天日海塩を活用したビジネス推進事業						•
34	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業						•
35	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業						•
36	地域資源を活かした防災関連商品推進事業						•
37	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト	•	•	•	•	•	•
38	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト	•	•	•	•	•	•
39	宿毛市観光振興事業	•					
40	竜串地域観光再生プロジェクト		•				
41	土佐清水まるごと戦略観光展開事業		•				
42	土佐清水ジオパーク推進事業		•				
43	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業			•			
44	大月町自然体験・環境教育交流推進事業				•		
45	三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業					•	
46	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業						•

と第3期計画Ver.4 (H31年度)の対比表)

							【幡多地域】
宿	±	四	大	Ξ	黒		
宿毛市	土佐清水市	万	月	三原村	潮		
市	س	1	町	村	町	No.	平成31年度
	ф	Ш					
12	11	15	9	8	8		
•						1	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業
•							幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業
							長期肥育雞の生産加工・流通体制確立事業
							四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業
							三原村ユズ産地化計画の推進事業
							一次打工へ産地に計画の推進事業 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業
		•					
			-				町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
•			•				すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業
•							すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業
•							宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業
•							宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業
		•				12	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業
			•			13	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業
			•			14	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業
•	•	•	•	•	•	15	幡多地域産品販売体制構築事業
•						16	直七の生産、加工、販売の促進事業
•						17	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業
	•					18	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト
	•					19	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業
	•					20	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業
	•					21	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業
		•					栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業
		•					四万十牛の生産・販売拡大事業
							売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)
							四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略横築事業
							地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業
		•					四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業
		•					
-		•					素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業
		•	_				遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業
			•	_			大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)
				•			三原村のどぶろくによる地域活性化事業
				•			地域産トマトの加工・販売の推進事業
					•		天日海塩を活用したビジネス推進事業
					•	34	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業
					•	35	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業
		L	L		•	36	地域資源を活かした防災関連商品推進事業
•	•	•	•	•	•	37	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト
•	•	•	•	•	•	38	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト
•						39	宿毛市観光振興事業
	•					40	竜串地域観光再生プロジェクト
	•					41	土佐清水まるごと戦略観光展開事業
	•					42	土佐清水ジオパーク推進事業
		•				43	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業
			•			44	大月町自然体験・環境教育交流推進事業
				•			三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業
				-	•		黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業
				•	-		集落活動センターによる地域の産業振興
	L					т/	

幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

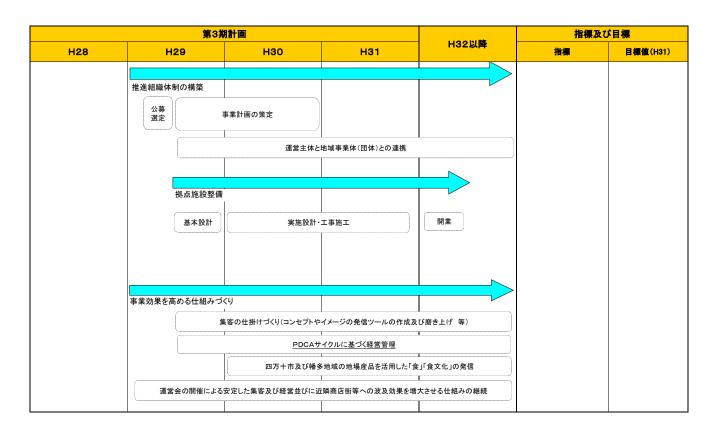
- ■追加 なし
- ■削除 なし
- ■その他(拡充、統合、分割) なし

【幡多地域】

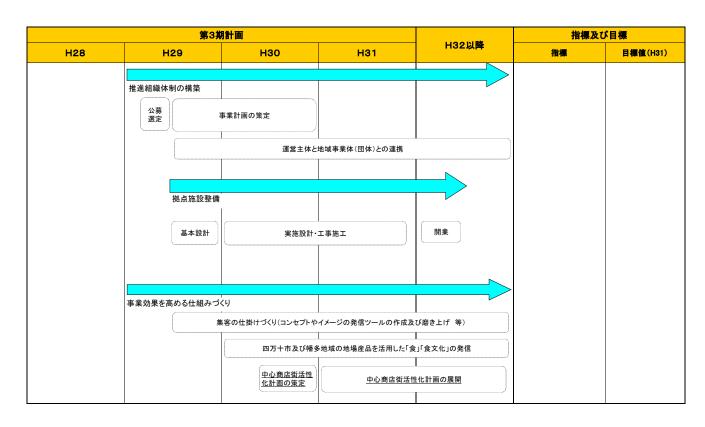
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29	業活性化拠点づくり事業	中心商店街内の遊休地を活 用して、官民協働によるコミュ ニティ機能を有した地域商業 の拠点施設を整備し、県内外 の観光客等に対して、四万十 地域の産品等の情報発信を 行うことにより、商店時に継 続的な賑わいをもたらし、中 心市街地の活性化を図る。	店(株)	アクションブランの取組開始: H29 - 運営主体の決定(H29) - 基本設計の策定(H29)	・誘客効果の高い戦略立 案 ・地域への波及効果を高 める仕組みづくり	◆推進組織体制の構築
						◆拠点施設整備
	修正前					◆事業効果を高める仕 組みづくり



	3-6-91					
	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29	業活性化拠点づくり事業	中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域向所 の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四階信を有した地域の度、県内外の観光客等に対して、四階信を行うことにより、商店も等に対して、田田信を続いな賑わいをした。中心市街地の活性化を図る。	・四万十にぎわい商 店(株) ・四万十市中心商店 街活性化協議会	アクションブランの取組開始: H29 ・運営主体の決定(H29) ・基本股計の策定(H29) ・施設コンセプト等の検討において 中小機機サポート事業を活用(H30) ・四万十市中心商店街活性化協議 会が発足(H30)	 誘客効果の高い戦略立案 ・地域への波及効果を高める仕組みづくり 	◆推進組織体制の構築
				<u>・協議会において産業振興アドバイザーを活用(H30)</u>		◆拠点施設整備
	修正後					◆事業効果を高める仕 組みづくり







【幡多地域】

	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
39	《宿毛市》	地域の観光推進体制の強化 と、宿毛市の資源を活用した 体験型観光商品の造成に取 り組むとともに、幡多地域全 体で連携して誘客を促進す ることにより、交流人口の拡 大を図る。	光協会 • 宿毛市	ロクラムの遺成、フラッシュアッフ (H20~) ・土佐の観光創生塾への参加	- 関係団体や地域住民と連携した体験メニューづくり ・広域的な周遊観光に向けた取組	◆地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成・磨き上げ
	修正前					◆推進体制の強化



	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
39	《宿毛市》	地域の観光推進体制の強化と、宿毛市の資源を活用した 体験型観光を活成に取り組むとともに、幡多地域全 体で連携して誘客を促進す	光協会	アクションプランの取組開始: H21 - 宿毛市の自然を活かした体験プログラムの造成、ブラッシュアップ(H20~) - 土佐の観光創生勢への参加	-関係団体や地域住民と 連携した体験メニューづ くり -広域的な周遊観光に向	ラムの造成・磨き上げ
	※価域産業クラスタ―関	大を図る。		(H28~) ◆(一社)宿毛市観光協会が中心となり体験プログラムの造成、ブラッシュアップや誘客促進を行う仕組みが構築された。 ・宿毛の魚おもてなしプロジェクトと	计元取組	◆誘客促進の取組
	No (t)			して「宿毛の魚しゃぶしゃぶ」を開発(H29) ・ 市内での直接的な消費拡大や 宿毛の魚の知名座の更なる向上 に繋がっている。 ・ 宿毛まちのえき「林邸」オープン (H30)		◆推進体制の強化
	修正後			(<u>N30</u>) ◆各種イベントの開催など、市民 および観光客等の交流拠点として 機能している。		

	第3期計画					とび目標
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					観光商品数 (H26:2件)	10件(累計)
	(H26:2件)					
地域の特性、資源を活か						
<u> </u>				I		
誘客促進の取組						
	・「幡多広域観光 ・スポーツフィッシ	長興計画」に基づく広域観光組 ングを中心とした誘客促進の取	織と連携した誘客促進の取組 組			
``						
推進体制の強化						
	県や市町村が行う人お	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	係人材のスキルアップ			
<u> </u>	74. 12.211.0 11.2241.			,		
					II .	





【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
0 竜串地域観光再生プロジェクト 《土佐清水市》	ピーク監修による爪白キャンプ場の整備を行うととも に、サンゴ保全や地域資源 を活用した観光商品づくりを	- 土佐清水市 - (一社)土佐清水 市観光協会 - NPO竜串観光振 興会 - 竜串自然再生協 議会	アクションブランの取租開始:H21 ・ギャップ調査(H22) ・規光資源の情報発信(H23) ・H22ステップアップ享業を活用し、竜阜の親光資源の限知度と関心度のギャップ調査を実施。調査結果を基に、H232産業展製合補助金を活用し、情報発信、認知度向上に取り組み入込客数の増加につながった。		◆地域の特性、資源を活かした体験プログラムの造成・磨き上げ◆サンゴの保護・育度への取組
修正前			・イベント開催(H21~23) ・海のギャラリー運営管理(H22~23) ・はた博開催を契機として、体験プログラムを造成し、旅行商品として販売(H25~) ◆地元NPO電車観光振興会を中心に、新たな観光メニューづくり、清掃活動、サンゴ保会、イベント開催、地元小学校の学習活動支援等を行い誘客促進につながった。 ・足暦海洋館のリニューアルに合わせ、足暦海洋館を核とした、電車地域の活性化を検討(H26~)		◆地域等と連携した 光施設の整備
修正前			小で、足指海洋風を依 とした。電 事地域の活性化を検討(H26~)。 - 足摺海洋館基本計画設計アドバ イザリー会議への参画		



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)	ピーク監修による爪白キャンプ場の整備を行うととも に、サンゴ保全や地域資源 を活用した観光商品づくりを	議 会	アクションブランの取組開始:H21 ・ギャッブ調査(H22) ・観光資源の情報発信(H23) ・観光資源の情報発信(H23) ・H22ステップアップ事業を活用し、竜串の観光資源を緊知度と関いを多差に、H23産業振興総合度の上に取り組み入込客数の増加につながった。・イベント開催(H21~23)・海のギャラリー運営管理(H22~23)・海のギャラリー運営管理(H22~23)・海のドルラーの音串観光振興会を中心に、新たな観光エユーづくり、清掃活動、サッギな観光エユーブとり、清掃活動、サッギなをとした。・足暦海洋館を核とした。・足暦海洋館を行い護常・日本・アルに合わせ、足暦海洋館を放とした。・足暦海洋館を放とした。・足暦海洋館を放とした。・足暦海洋館を放とした。・足暦海洋館基本計画数計アドバイ・竜島を大田の参画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		◆地域の特性、資源を活かした体験プログラムの造成・磨き上げる成・磨き上げるのでは、 ◆サンゴの保護・育局への取組 ◆地域等と連携したが 光施設の整備

	第3期計画				指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					入込客数	12.5万人
也域の特性、資源を活かし	た体験プログラムの造成・磨	き上げ			(H22:12万人) (H26:9.5万人)	
ナンゴの保護・育成への取	組					
也域等と連携した観光施設	の整備					
爪白キャンプ場 基本計画策定	爪白キ	ヤンプ場設計・施設整備				
	新足摺海洋館施設整備等(に係る意見交換・情報共有				





【幡多地域】

	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
41	光展開事業 《土佐清水市》 ※地域産業クラスター関連(土佐清水ンシカ産業	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、体験型観光を関づけ、体験型観光をはじめ、教育院客促進・充実国際観光等の整備・充実で、滞在日政り組むごとで、滞在日本の延長や消費の拡大を略多地域全体でみ、大きに、特多地域全体でみ、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	市観光協会 ·土佐清水市	進に向けた体験プログラムの造成 (H25)	- 観光客の減少 - 滞在日数延長のため の取組 - 幡多広域全体での誘 客促進	◆地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成・磨き上げ ◆誘客促進の取組 ◆推進体制の強化



	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
41	光展開事業 《土佐清水市》 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業	観光産業を地域の戦略的産業と位置づけ、体験型観光をはじめ、教育やスポーツ、強国際観光等の誘客促進の強化と受入態勢の整備・充実に取り組むことで、滞在日図を提入が消費の拡大を図る連続して誘客促進に取り組み、交流人口の拡大を図る。	市観光協会 -土佐清水市	アクションプランの取組開始: H22・ ・	- 観光客の減少 - 滞在日数延長のため の取組 - 幡多広域全体での誘 客促進	◆地域の特性、資源を 活かした体験型プログ ラムの造成・磨き上げ ・ ◆誘客促進の取組
	修正後			製光協会事務局を配置。ジョン万次郎資料館もリニューアルオープンに、異業種が連携したイベントの実施や体験型観光の受入の窓口となるなど、交流拠点として機能している。 ・観光客の滞在時間延長に向けた取組として連泊客を対象として、体験商品券の進星を行うなどにより、圏内での体験プログラムの利用性に繋がった。・ジョン万資料館を幕末維新博に合わせて改修しリニューアルオープン(H30) ・ 直人駄場でスターウオッチングイベントを初めて開催(H30)		◆推進体制の強化

第3期計画				指標及び目標		
H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
				入込客数	80万人	
た体験型プログラムの造成・豚	善き上げ			(H26:69.3万人)		
「食」や「歴史」「自然	」を活用した体験プログラムの	の造成・磨き上げ				
- 「幡多広域観光振興計画	 i 」に基づく広域観光協議会と	・連携した誘客促進の取組				
県や市町村が行う人材	育成制度等を活用した観光限	関係人材のスキルアップ				
)			
	H29 た体験型プログラムの造成・原 「食」や「歴史」「自然 ・「幡多広域観光振興計画・インパウンド観光の推進	H29 H30 た体験型プログラムの造成・磨き上げ 「食」や「歴史」「自然」を活用した体験プログラム ・「幡多広域観光振興計画」に基づく広域観光協議会と ・インバウンド観光の推進	H29 H30 H31 た体験型プログラムの造成・磨き上げ 「食」や「歴史」「自然」を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・「幡多広域観光振興計画」に基づく広域観光協議会と連携した誘客促進の取組	H29 H30 H31 H32以降 た体験型プログラムの造成・磨き上げ 「食」や「歴史」「自然」を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・「幡多広域観光振興計画」に基づく広域観光協議会と連携した誘客促進の取組・インパウンド観光の推進	H30 H31 H32以降 指標 大込客数 (H22:86.9万人) (H26:86.9万人) (H26:69.3万人) 「食」や「歴史」「自然」を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・「幡多広域観光振興計画」に基づく広域観光協議会と連携した誘客促進の取組 ・インパウンド観光の推進	



	第3期計画				指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					入込客数 (H22:86.9万人)	80万人 <u>※うち、ジョン万</u> 次郎資料館:
地域の特性、資源を活かし	.た体験型プログラムの造成 ・ 履	巻 上げ			(H26:69.3万人)	<u>次郎資料館:</u> 17,000人
	「食」や「歴史」「自然	」を活用した体験プログラムの	造成・磨き上げ			17,000
誘客促進の取組						
	・「幡多広域観光振興計画・インバウンド観光の推進	」に基づく広域観光協議会と追	重携した誘客促進の取組			
推進体制の強化						
	県や市町村が行う人材で	育成制度等を活用した観光関係	系人材のスキルアップ			
```						

### 【幡多地域】

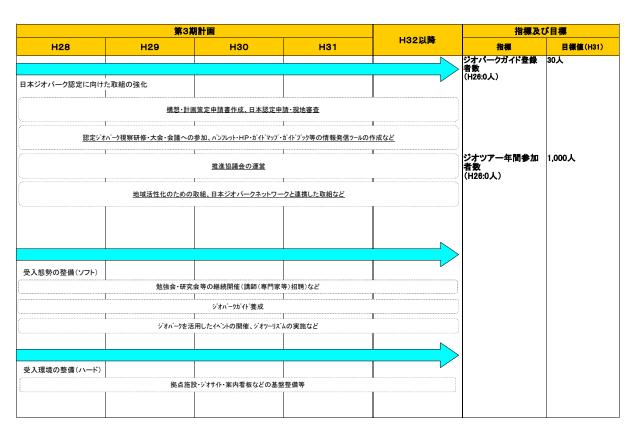
項目		事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
42 土佐清水: 事業 《土佐清水		足摺岬、竜阜・見残し、唐人 駄場など、日本でも貴重な地 域の資源を活かして「日本ジ オパーク」の認定に向けた取 り組みを進めるとともに、地 域資源の保全や環境教育等 のはより交流人口の拡 大につなげる。	・土佐清水市 ・土佐清水ジオパー ・土佐清水ジオパー ク推進協議会	アクションプランの取組開始:H26 ・市役所内にジオパーク推進係を設置(H26)、ジオパーク推進率を設置(H27)・土佐清水ジオパーク推進準備会設立及び開催(H28)・地質専門員の配置(H28)・土佐清水ジオパーク推進協議会設立(H28)・土佐清水ジオパーク推進協議会設立(H26)・大安藤演会、勉強会、視察研修等を実施し、(H28~)配定に向けた取組内容等を学んだことで、参加者の意致が同じた。	・日本ジオパーク認定に 向けた取組の強化 ・地域における推進体制 の強化	◆日本ジオパーク認定 に向けた取組の強化
				◆日本ジオ/ペークネットワーク関連 の大会及び会合等へ参加し、(H26 〜)認定に向け関係者との人的繋 がりができた。 ・市広報誌を活用した住民周知活動(H28〜)・土佐清水ジオパーク推造協議会 の第1回総会を開催(H27) ・テーマ、キャッチコピー、ロゴマー クの決定(H27)・地域おこし協力隊の配置(H27)		◆日本ジオパークの取組継続 ◆受入態勢の整備 (ソフト)
				◆推進室の設置や推進協議会の 開催、専門員等の配置により、推進 体制(組織)を構築することができ た。・ジオガイドの育成(H28) ・認定見送りで指摘された課題への 対応と再申請にむけた取り組み (H29)		
修正	<b>E前</b>					◆受入環境の整備 (ハード)



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
	足摺岬、竜串・見残し、唐人 駄場など、日本でも貴重な地	・土佐清水市 ・土佐清水ジオパー ク推進協議会	アクションブランの取組開始:H26 ・市役所内にジオパーク推進等を設置(H26)、ジオパーク推進等を設置(H26)、ジオパーク推進等を設置(H26)・土佐清水ジオパーク推進第金 設立及び開催(H28)・土佐清水ジオパーク推進協議会・土佐清水ジオパーク推進協議会・十名講演会、勉強会、視察研修を表検を表検をと、表し、H26~ととなり、日本の大会及び中とした。・参加者の大会及び中とした。・一次を及び中とした。・一次を及び中とした。・一次を及び中とした。・一次を及び中とした。・一次を及び中とした。・一次を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表検を表した。・一次を表が中上した。・一次を表が中上した。・一次を表ができた。・市広報誌を活用した住民周知活動(H26・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・日本ジオパーク認定に向けた取組の強化 ・地域における推進体制 の強化	◆日本ジオパーク認定に向けた取組の強化  ◆受入態勢の整備 (ソフト)
修正後			・認定見送りで指摘された課題への 対応と再申請にむけた取り組み (付29) ・指摘された課題は一定クリアした というこで再申請をし、1次署をは 温温したが、現地審査の結果認定 見送りとなった。今回新たに指摘さ れた課題への対応と再々申請に向 けた取り組み(H30)		◆受入環境の整備 (ハード)

	第3期	明計画	H32以降	指標及び目標		
H28	H29	Н30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					ジオパークガイド登録 者数 (H26:0人)	30人
日本ジオパーク認定に向けた	た取組の強化				1 数 (H26:0人)	
構想·計画策定 申請書作成	日本認定申請·現地審査					
認定ジオパーク視察研修・大会・ P・ガイドマップ・ガイドプック等の情						
推進協議	会の運営				ジオツアー年間参加	1,000人
					者数 (H26:0人)	
		日本ジオパークの取組継続				
		地域活性化のための		  -ク <u>としての</u> 取組など		
			推進協議会の継続運営			
受入態勢の整備(ソフト)						
J	勉強会・研究	l 会等の継続開催(講師(専門家等	)招聘)など	)		
		ジオパークガイド養成				
I	::+°	用したイベントの開催、ジオツーリズム。	の中性とは			
	ク4ハークを占	用した1~フトの開催、グイソーリスム(	の夫配なと			
受入環境の整備(ハード)						
	拠点施調	 	整備等			





## 【幡多地域】

	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
43	活かした通年・滞在型観 光推進事業 《四万十市》	四万十市内での滞在期間を延ばし、宿泊を促す「通過期 観光からの形却」と開き 観光からの形却」と開き できる通年 型観光に取り組むことにより、宿泊者数の増加を図ると ともに、幡多地域全体で連 携して誘客促進に取り組み 交流人口の拡大を図る。	•四万十市	アクションプランの取組開始: H21 ・花まつりの通年化(H22~) ・全まつりとしてのイベント合同開催(H23~) ・自転車観光の推進(H24~) ・自転車観光の推進(H24~) ・予土県境地域連携協議会でのサイクリングイベントの実施(H28~) ◆通過型観光からの脱却と関散期(秋・冬)における集を増のため、秋に特化した宿泊を促すイベント開催にあたって、飲食店組合やた節館組合等との連携を強化したこと、中国となった観光客。受入体制の足場を築くことができ	・広域的な周遊観光に向 けた取組	◆地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成・磨き上げ
	修正前			た。 ◆「四万十川周遊川パス」の運行 や「しまんと・あしずり号」の運行 接を行うことにより、四万十市、土 佐清水市を中心とした周遊及び滞 在時間の延長に繋がった。 ・土佐の観光創生塾への参加 (H28)		◆推進体制の強化



□ 本業の概要							
活かした通年・滞在型観 観光協会 **元までいる通生 (H22~) **元までもる通生 (秋・冬)にも勝客できる通生 型観光に取り組むことにより、宿泊者数の増加を図るとともに、幡多地域全体で連 携して誘客促進に取り組み交流人口の拡大を図る。  **の万十市 (中24~) **・一般を地域全体で連 特別では、「中25~)・一方 土 県境地域連携協勝会でのサイクリングイベントの実施(H26~) ** 一多流過型観光からの脱却と関散期 (秋・冬)における集客増のため、秋に特化した宿泊を促すイベント開催にあたって、飲食店組合や旅館組合等との連携を強化したことにより、官民一体となった観光客 受入体制の足場を強化したことにより、官民一体となった観光客 受人体制の足場を強化したことにより、官民一体となった観光客 受人体制の足場を強化したことにより、官民一体となった観光客 できた。 **上佐荷素木市を中心とした周遊及び滞在時間の延長に繋がった。 **土佐の観光創生整への参加		項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
	43	活かした通年・滞在型観光推進事業 《四万十市》	延ばし、宿泊を促す「通過型 観光からの脱却」と関散期 (税・冬)にも勝客できる通年 型観光に取り組むことにより、宿泊者数の増加を図ると ともに、幡多地域全体で連 携して勝客促進に取り組み	観光協会 - 四万十市	・花まつりの通年化(H22~) ・二次交通の補強(H23~) ・含まつとしてのイベント合同開催(H23~) ・自転車観光の推進(H24~) ・予土県境地域連携協議会でのサイクリングイベントの原施(H26~) ◆通過型観光から象を増のため、対に特化した宿泊を集をすイベント開催にあたって、飲食店組合やとにより、官民一体となった観光できた。 ◆「四万十川周遊川パス」の運行支援を行うことにより、四万井の運行するといる場合等との連携を強化したことにより、官民一体となった観光できた。 ・「四万十川周遊川パス」の運行支援を行うことにより、四万油周遊川パス」の運行支援を行うことにより、四万十二届遊川パス」の運行支援を行うことにより、四万油面及び滞在時間の延長に繋がった。 ・土佐の観光創生塾への参加	がる観光商品の造成や 磨き上げ - 広域的な周遊観光に向けた取組	ラムの造成・磨き上げ ◆誘客促進の取組

	第3期	計画	LLO O IN IRE	指標及	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					入込客数 (H21:95.5万人)	130万人
地域の特性、資源を活か	した体験型プログラムの造成	・磨き上げ			(H24:117万人) (H26:118.2万人)	
	「食」や「歴史」「自	然」を活用した体験プログラム	の造成・磨き上げ		(HZ0:116.2万人)	
誘客促進の取組						
	・「幡多広域観光振興計・四万十の食文化磨き上・滞在型の観光商品づく・観光商品のセールスの・おもてなし環境の整備	りの取組 )取組	<b>も携した誘客促進の取組</b>			
推進体制の強化						
	県や市町村が行う人材	才育成制度等を活用した観光関	- 関係人材のスキルアップ			
·····						



	第3期	計画		L L C C IN THE	指標及	び目標
H28	H29	Н30	H31	── H32以降	指標	目標値(H31)
地域の特性、資源を活か	した体験型プログラムの造成「食」や「歴史」「自	・磨き上げ  然」を活用した体験プログラム  画」に基づく広域観光組織と選  「ゲの取組  りの取組  り取組	の造成・磨き上げ		指標 入込客数 (H21:95.5万人) (H24:117万人) (H26:118.2万人)	目標値(H31) 130万人 ※うち、四万十市 立郷土博物館: 7.600人
推進体制の強化		育成制度等を活用した観光				